

# 石油製品の価格動向について

平成19年3月16日  
生活環境部  
総務企画グループ

## 1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、3月9日～15日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	3月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	128	128	0.0
		セルフ	124	124	0.0
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	107	108	0.9
		セルフ	103	104	1.0
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,262	1257	0.4
		セルフ	1,226	1203	1.9
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,390	1369	1.5
LPガス	一般家庭用、10m <sup>3</sup>	一般店舗	6,694	6660	0.5

ガソリン、軽油は、暖冬や給油所間の価格競争の激化などにより値下がり傾向が続いていたが、3月は元売各社が卸売価格を引き上げたこともあり、結果としてガソリンは2月と同額の128円となり、軽油は1円の値上がりとなった。

灯油は需要期のピークを過ぎてさらに値下がりし、先月同様1,300円台を割り込んだ。LPガスもわずかに値下がりした。

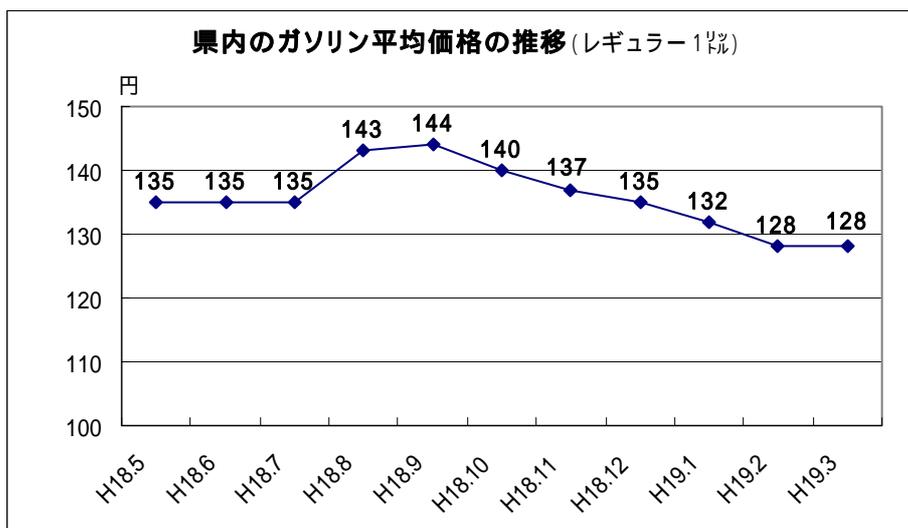
給油所間の価格競争の激化や暖冬の影響で各品目とも大幅な上昇とはならなかったが、ガソリン・軽油は需要期を控えており、灯油も国内在庫が急減していることなどから、引き続き価格動向を注視していく必要がある。

LPガスは季節的な需要の増減はあるものの、直ちに価格変動につながらないと考えられることから、引き続き価格動向を注視していく必要がある。

## 2 県内の石油製品価格の推移

### (1) ガソリン価格

一般店舗価格

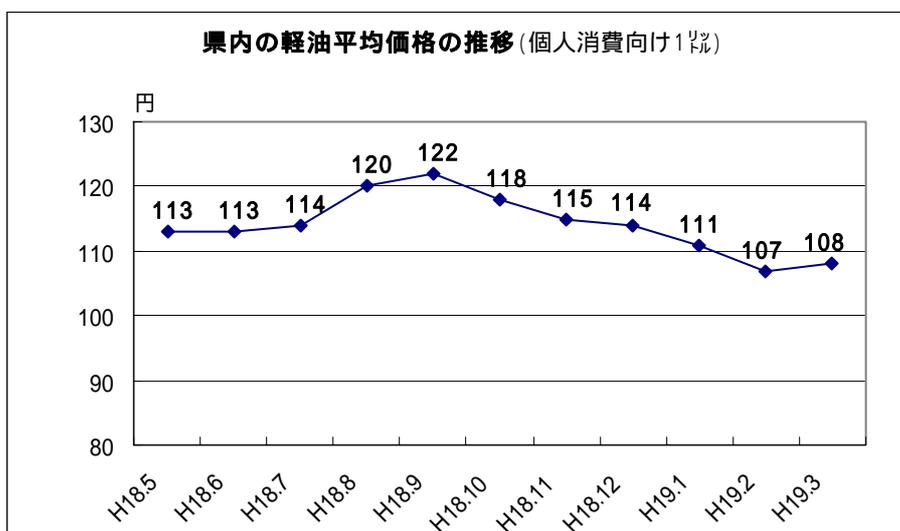


ガソリンは値下がり傾向が続いていたが、3月は元売各社が卸売価格を引き上げたこともあり、2月と同額の128円となった。

給油所間の価格競争の激化や暖冬の影響で大幅な上昇とはならなかったが、需要期を控えており、引き続き動向を注視していく必要がある。

### (2) 軽油価格

一般店舗価格

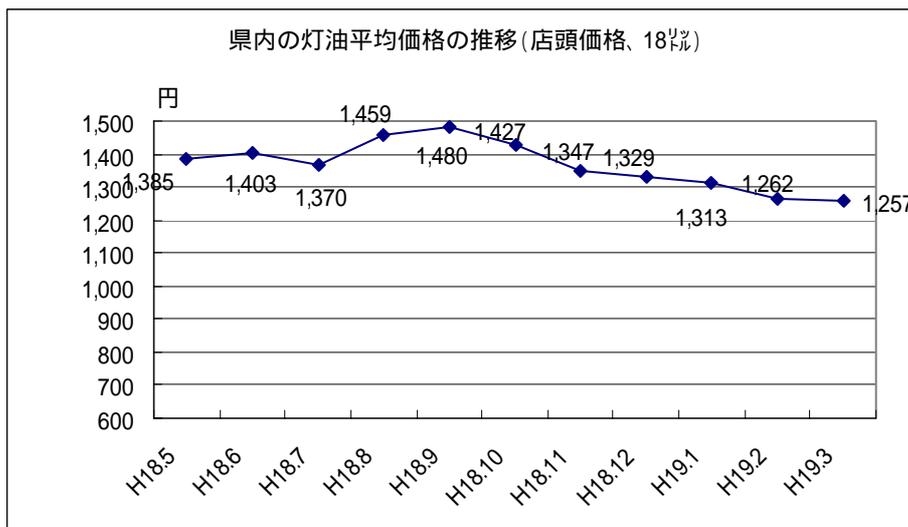


2月調査結果と比較すると、3月は1円値上がりした。元売各社が卸売価格を引き上げたこともあり、平成18年9月以来の上昇となった。

給油所間の価格競争の激化や暖冬の影響で大幅な上昇とはならなかったが、需要期を控えており、引き続き動向を注視していく必要がある。

### (3) 灯油価格

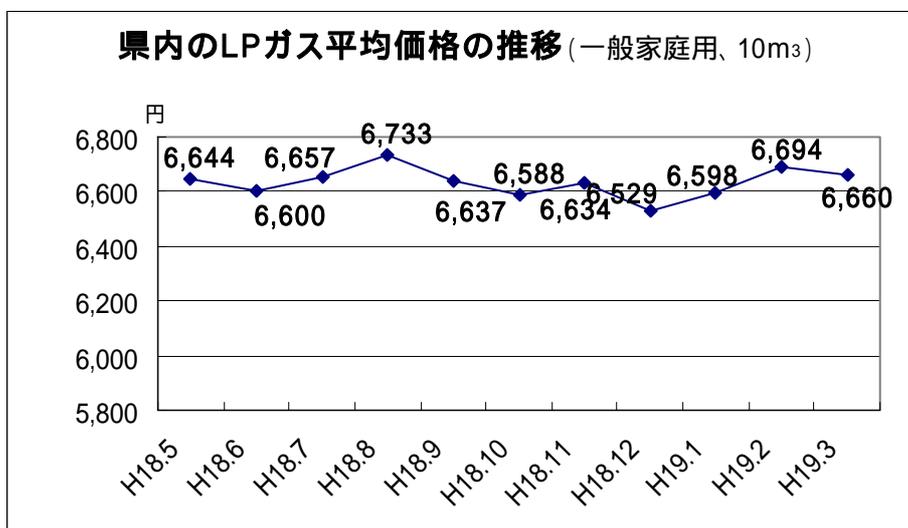
一般店舗価格



2月調査結果と比較すると、3月は暖冬の影響で消費が落ち込んだことなどから5円(1ℓ当たり0.2円)値下がりし、先月に引き続き1,300円台を割り込んだ。灯油の国内在庫が急減していることなどから引き続き動向を注視していく必要がある。

### (4) LPガス価格

一般店舗価格



2月調査結果と比較すると、3月は6,660円となり、34円値下がりした。LPガスは季節的な需要の増減はあるものの、直ちに価格変動につながらないと考えられることから、引き続き動向を注視していく必要がある。